

活動概要

河内長野市と産学連携で、河内長野市にあるフルーツや野菜などの地域資源の広報活動を実施した。平成29年度大阪観光局主催「OSAKA観光まちづくりコンテスト」において大阪府知事賞を受賞した、路線バスを利用したモニターツアーの実現や河内長野市の農商連携事業「奥河内フルーツラリー」において、公式インスタグラムを用いて情報発信を行った。大阪大学工学部とクロスアポイント制度を用いたプロジェクトと発展し、産官学連携×大学間連携プロジェクトとして遂行した。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	産品ブランド等お土産・商品開発事業に関連する情報発信事業
対象となる地域・企業等	河内長野市
活動学生(ゼミ・学年等)	情報メディア学科3年
連携時期	平成30年8月1日～平成31年3月31日
学外への広報方法	新聞・フリーペーパー・SNSなど
連携内容	<p>1) 「奥河内フルーツラリー」に関する情報発信の実施 平成30年度「奥河内フルーツラリー」に関連し、河内長野市内外からより多くの人たちに参加してもらうべく、必要な情報の発信業務を行う。</p> <p>2) 河内長野市の地域資源を活用した新たな情報発信手法の開発 上記1)と関連しながら、河内長野市の地域資源（農産品、事業者、観光資源等）を活用し、河内長野市の魅力を広く伝えることができるような事業を企画し、実施する。</p>
成果	<p>フルーツラリー実施期間中に85本の記事を公式インスタグラムに投稿した。その結果、フォロワー数が1.8倍、いいね数の平均も3倍以上に増加した。観光資源を活用したツアーも企画し、9月に実施。実施後アンケートにおいて参加者全員が満足もしくは非常に満足と回答し、さらに約90%の参加者が河内長野市への再訪意欲を示すという結果を得られた。</p> <p>また、本プロジェクトの成果と考察は「地方創生政策アイデアコンテスト」（内閣府主催）大学生以上一般の部において、地方予選を通過し全国審査に進む（応募総数604件のうち地方予選通過件数は21件）という評価を受けた。</p>

研究者・研究グループからの「ひとこと」

学生コメント：

このツアーを実施するにあたり、多くの方々と接する機会を頂きました。農家の方や、飲食店の方、市役所の方など普段接することのない社会人の方々とお話をしたり意見を頂いたり、普通に学生生活を送っている中では経験できない体験ができました。また、大阪大学の学生さんたちと一緒にプロジェクトを実施できたことは自分たちとは違う視点との意見交換ができ刺激かつ楽しい機会となりました。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)



河内長野市外の若年層をターゲットとした情報発信として公式インスタグラムをプラットフォームにした広報活動を実施しました。参加全店舗（掲載を希望しなかった2店舗を除く）と参加店に果物を供給している農家に、学生が取材を行いインスタグラム記事を作成し、投稿しました。

9月1日から10月24日まで台風による1週間の休止期間を除いて毎日記事投稿を行いました。その結果、投稿前（8月31日時点）と全投稿終了後（10月24日時点）でフォロワー数が1.8倍、いいね数の平均も3倍以上に増加しました。また、期間中に台風等の自然災害があったにもかかわらず昨年を大きく超えるラリーへの参加者がありました。このことから一定の成果が得られたものと考えます。

さらに、河内長野市のフルーツラリーのPRとともに、河内長野市の農業・林業施設の観光資源としての可能性を検討するため、路線バスを利用したモニターツアーを2018年9月17日に実施しました。ツアー内容のうち、ぶどうを利用したワークショップ（「ぶどうの宝石箱づくり」）や地元酒蔵でのぶどうの日本酒カクテルづくりは、今回のツアー実施のために学生と生産者と相談して企画した試行的なものであったが、どちらも好評を得ました。